

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-108435

(43)Date of publication of application : 30.04.1993

(51)Int.Cl.

G06F 12/00

G06F 3/14

G06F 15/40

(21)Application number : 03-272797

(71)Applicant : PFU LTD

(22)Date of filing : 21.10.1991

(72)Inventor : TANAKA YOSHITOMO

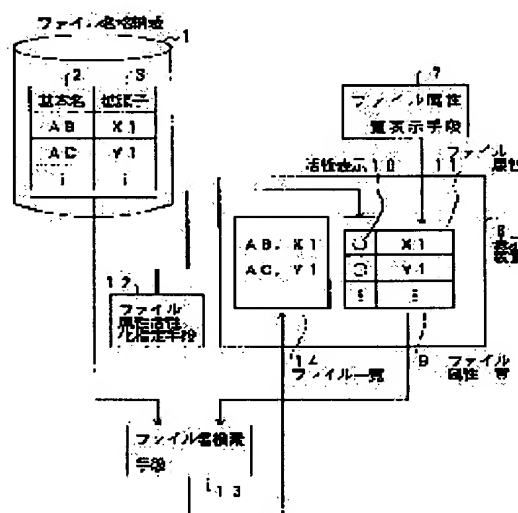
FURUICHI SEIICHI

(54) FILE LIST GENERATION PROCESSING METHOD

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide an efficient method for designating plural file attributes and generating a file list.

CONSTITUTION: In a data processor provided with a management function which manages a file by a file name with forward transformation designating the expander 3 of the file name as the file attribute, a file attribute list display means 7 which displays the file attribute designated by the expander 3 of the file name in controlled files on a screen, a file attribute activation designation means 12 which selects the file attributes 11 of an arbitrary number on the list 9 of the file attributes and designates activation, and a file name retrieval means 13 referring to the list of the file attributes and retrieving the file name having one of the file attributes 11 in the arbitrary number, which are designated activation, as the expander from the storage area of the file names are sued and the file list is generated by collecting the plural file attributes 11.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 20.02.1995

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 14.10.1997

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

| | | | | |
|--------------------------|---------|---------|-----|--------|
| (51)Int.Cl. ⁵ | 識別記号 | 庁内整理番号 | F I | 技術表示箇所 |
| G 0 6 F 12/00 | 5 1 5 M | 7832-5B | | |
| 3/14 | 3 4 0 B | 7165-5B | | |
| 15/40 | 5 0 0 G | 7060-5L | | |

審査請求 未請求 請求項の数1(全 6 頁)

| | | | |
|----------|------------------|---------|---|
| (21)出願番号 | 特願平3-272797 | (71)出願人 | 000136136 株式会社ピーエフユー 石川県河北郡宇ノ気町字宇野気ヌ98番地の 2 |
| (22)出願日 | 平成3年(1991)10月21日 | (72)発明者 | 田中 良知 石川県河北郡宇ノ気町字宇野気ヌ98番地の 2 株式会社ピーエフユーソフトウェアラ ボラトリ内 |
| | | (72)発明者 | 古一 成一 石川県河北郡宇ノ気町字宇野気ヌ98番地の 2 株式会社ピーエフユー内 |
| | | (74)代理人 | 弁理士 長谷川 文廣 (外2名) |

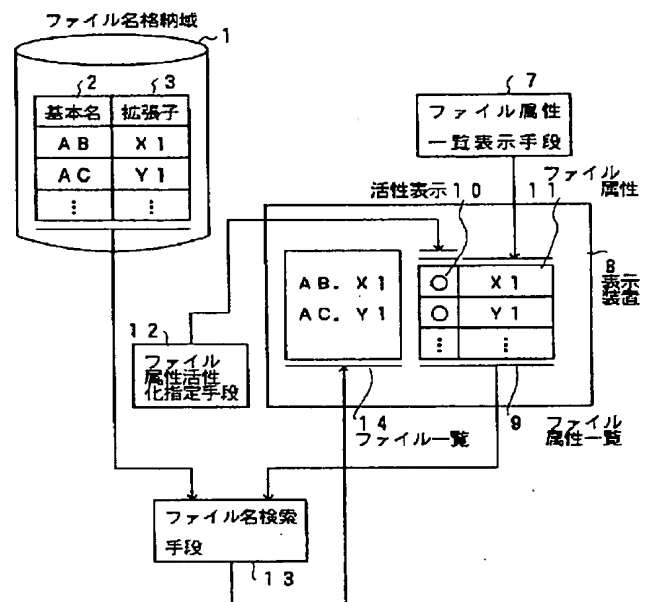
(54)【発明の名称】 ファイル一覧作成処理方法

(57)【要約】

【目的】 複数のファイル属性を指定してファイル一覧を作成する効率的な方法を実現することを目的としている。

【構成】 ファイル名の拡張子をファイル属性として指定できる順編成でファイル名をファイル管理する管理機能をそなえたデータ処理装置において、管理下にある各ファイルのファイル名の拡張子に指定されているファイル属性の一覧を画面表示するファイル属性一覧表示手段と、画面表示されたファイル属性の一覧上で任意数のファイル属性を選択して活性化指定を可能にするファイル属性活性化指定手段と、ファイル属性の一覧を参照し、活性化指定されている任意数のファイル属性のいずれかを拡張子にもつファイル名をファイル名の格納域から検索するファイル名検索手段とを用いて、ファイル一覧を複数のファイル属性についてまとめて作成する。

本発明の原理説明図



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ファイル名の拡張子をファイル属性として指定できる順編成でファイル名をファイル管理する管理機能をそなえたデータ処理装置において、管理下にある各ファイルのファイル名の拡張子に指定されているファイル属性の一覧を画面表示するファイル属性一覧表示手段と、画面表示されたファイル属性の一覧上で任意数のファイル属性を選択して活性化指定を可能にするファイル属性活性化指定手段と、ファイル属性の一覧を参照し、活性化指定されている任意数のファイル属性のいずれかを拡張子にもつファイル名をファイル名の格納域から検索するファイル名検索手段とを有し、上記各手段を用いて任意数のファイル属性を同時に指定してそれらのファイル属性のいずれかを拡張子にもつファイル名を検索し、ファイル一覧を作成することを特徴とするファイル一覧作成処理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ファイルの属性をファイル名の拡張子に指定できるファイルを管理するデータ処理装置において、ファイル検索を容易にするためのファイル一覧の作成処理方法に関し、特に任意数のファイル属性の種別についてファイル一覧を同時に作成するファイル一覧作成処理方法に関する。

【0002】一般にファイルには固有の名前が与えられているが、そのほかに、そのファイルの用途などの管理上の識別情報をファイル属性としてファイル名の拡張子に使用できるファイル管理システムがある。たとえばプログラムのファイルではそれがソース形式か実行形式かを識別できるようにファイル属性を拡張子という形で使用可能である。本発明は、このようなファイル属性をキーとして任意数同時に指定してファイル一覧を効率的に作成処理する方法を提供する。

【0003】

【従来の技術】ファイル属性をファイル名の拡張子に使用可能なファイル管理を行う従来のデータ処理装置ではファイル一覧はすべてのファイル名を表示するか特定のファイル属性に基づいてファイル名を検索し表示する方法がとられるが、後者によりファイル一覧を作成したい場合、キーとして指定できるのはファイル属性の1つの種別だけであり、複数のファイル属性種別についてのファイル一覧が欲しい場合には、ファイル属性種別ごとにファイル一覧を作成していた。

【0004】図4に、従来のファイル一覧作成処理の具体例を示す。図4において、1は管理下にあるファイルのファイル名が登録されているファイル名格納域であり、2はファイルの基本名、3はファイル基本名に連なりかつファイル属性として使われる拡張子、4、5、6はファイル一覧を示す。ここですべてのファイル名を表示したファイル一覧が4であり、ファイル属性X1をキ

2

ーとしてファイル名ファイル1を検索し作成したものが5のファイル一覧、そしてファイル属性Y1をキーとして作成したものが6のファイル一覧である。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】従来のファイル一覧においては、すべてのファイルについての一覧を表示するかまたは単一の属性のファイルについての一覧を表示するかのどちらかに限定されていた。従って、利用者が複数のファイル属性の中からファイルを検索したい場合には、以下の方式をとっていた。

【0006】1. すべてのファイルの中から検索した。
2. まず、1つめの属性の一覧を表示し、その中になかった場合には、次の属性の一覧を表示して探していく。

【0007】このため、ファイルの数が多くなると目的のファイルを探し当てるのに時間と手間がかかるという問題があった。本発明は、複数のファイル属性を指定してファイル一覧を作成する効率的な方法を実現することを目的としている。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、まず使用されているファイル属性の一覧とそれらのファイル属性をもつファイルの一覧とを画面に表示して、任意数のファイル属性を同時に指定できるようにし、指定された任意数のファイル属性を参照してファイル名のファイルを並行して同時に検索し、単一のファイル一覧を作成しなおすものである。

【0009】図1は、本発明の原理説明図である。図1において、1は、検索対象のファイル群のファイル名を登録したファイル名格納域であり、順編成で作成されている。

【0010】2は、個々のファイルに利用者が与える基本名である。3は、用途などのファイル属性として使用される拡張子である。ファイル名は基本名2と拡張子3とによって構成される。

【0011】7は、拡張子3に設定されるファイル属性の種別を並べたファイル属性一覧を画面に表示する処理を行うファイル属性一覧表示手段である。8は、表示装置である。

【0012】9は、画面に表示されたファイル属性一覧である。10は、ファイル属性一覧9中に表示された各ファイル属性の種別ごとにその活性（有効）、非活性（無効）を指示する活性表示である。図では、活性を○印で示してある。

【0013】11は、ファイル属性であり、重複がないように表示される。12は、利用者からの指示によりファイル属性一覧中の任意数のファイル属性を選択してその活性表示を活性化指定する処理を行うファイル属性活性化指定手段である。

【0014】13は、ファイル属性一覧9中で活性化指定されている各ファイル属性の種別についてそれらをキ

ーとしてファイル名ファイル1のファイル名の拡張子3を検索し、該当するファイル名を抽出する処理を行うファイル名検索手段である。

【0015】14は、検索結果のファイル名を並べたファイル一覧であり、表示装置8に出力される。

【0016】

【作用】図1における全体の動作を次に説明する。ファイル名格納域1はデータ処理装置のファイル管理機能によって管理されており、また拡張子3として使われるファイル属性の種別のリストも予め用意されている。まずファイル属性一覧表示手段7を起動して、ファイル属性一覧9を表示装置8の画面に表示し、次にファイル属性活性化指定手段12を用いて、ファイル属性一覧9の各ファイル属性種別ごとに活性、非活性を指定し、活性表示10に設定する。

【0017】次にファイル名検索手段13を起動し、ファイル名格納域1の各ファイル名ごとに、その拡張子3の内容とファイル属性一覧9中で活性指定されているファイル属性種別のすべてとを比較し、いずれかのファイル属性種別と一致した場合にのみ、そのファイル名をファイル一覧14に設定する。

【0018】このようにして、ファイル名格納域1の各ファイル名について、活性化された任意数のファイル属性と並行して照合していくことによって、これらのファイル属性のいずれかをもちつファイル名のファイル一覧がまとめて作成される。図示の例では、ファイル属性X1, Y1が活性化指定され、ファイル名(AB X1), (AC Y1)が抽出される。

【0019】

【実施例】図2および図3により、本発明の実施例を説明する。図2は、本発明実施例によるファイル一覧作成処理のフロー図であり、図1のファイル名検索手段13の処理の詳細を示している。動作は次の通りである。

【0020】ファイル名格納域を探索し、未処理のファイル名がなければ終了し、未処理のファイル名が残っていれば、ファイル属性一覧中の活性化属性1～Nについて順次ファイル名の拡張子と照合し、一致(YES)であればファイル一覧へセットし、いずれの属性とも不一致(NO)であれば次のファイル名を探索して処理を繰り返す。

【0021】図3は、本発明実施例によるファイル一覧作成処理の具体例を示す説明図である。図3において、1はファイル名格納域、8は表示装置、9は画面表示されたファイル属性一覧、10は活性表示、11はファイル属性、14はファイル一覧、15はディスクドライブ

の指定領域、16はファイル名格納域1の検索結果作成された表示用ファイル名のテーブルを示す。

【0022】ファイル属性一覧9に表示されているファイル属性の種別はP25, P16, TIF, SGRの4種類である。P25とSGRにONが設定されて活性化され、P16とTIFにはOFFが設定されて非活性化されている。これらのファイル属性の活性化指定の状態は、画面表示上では各ファイル属性ごとに、輝度あるいはカラーの変化によって視覚的に識別可能にされる。

【0023】このような活性化指定が行われたファイル属性一覧9を用いてファイル名格納域1を検索し、該当するファイル名のみを抽出して表示用ファイル名のテーブル17に設定する。図示の例では、ファイル名(ABC, P25), (PQR, SGR)などが抽出されている。このテーブル17の内容がそのままファイル一覧14として表示装置8の画面に表示される。利用者は表示されたファイル一覧14を参照して所望のファイルを探

【0024】

【発明の効果】本発明によれば、複数のファイル属性を同時に指定してそれらの属性をもつファイルのファイル名を一度に得ることができるため、利用者はファイル属性の指定のしなおいしを行う必要がなくなり、複数の異なるファイル属性をもつファイルの検索が簡単になり、処理の迅速化が図られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原理説明図である。

【図2】本発明実施例によるファイル一覧作成処理のフロー図である。

【図3】本発明実施例によるファイル一覧作成処理の具体例説明図である。

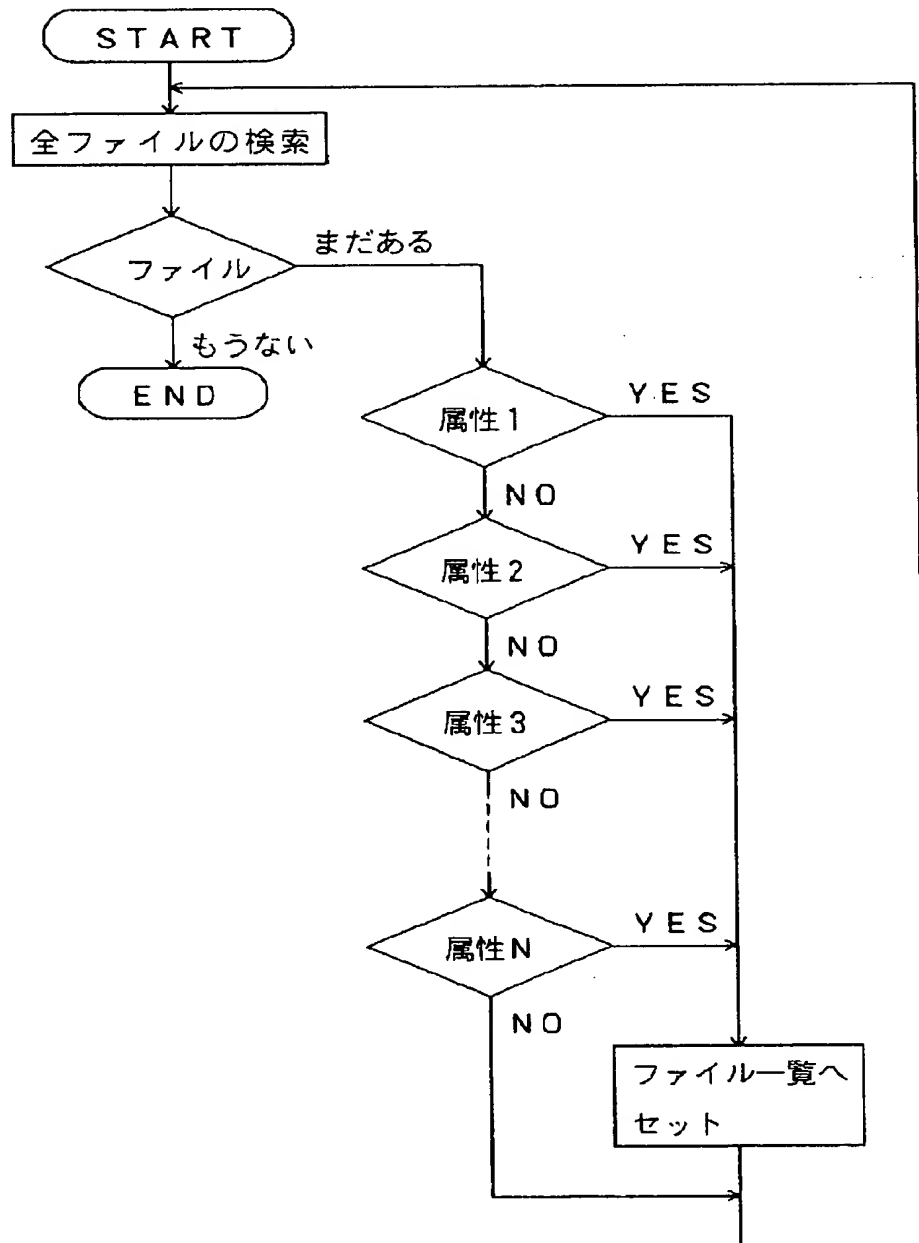
【図4】従来のファイル一覧作成処理の具体例の説明図である。

【符号の説明】

- 1 ファイル名格納域
- 2 基本名
- 3 拡張子
- 7 ファイル属性一覧表示手段
- 8 表示装置
- 9 ファイル属性一覧
- 10 活性表示
- 11 ファイル属性
- 12 ファイル属性活性化指定手段
- 13 ファイル名検索手段
- 14 ファイル一覧

【図2】

本発明実施例によるファイル一覧作成処理のフロー図



【図3】

本発明実施例によるファイル一覧作成処理の具体例説明図

